




スマート畜産、県内各地で活用中！

県内では、高齢化や人手不足が進む中、省力化や生産性の向上など経営の効率化を目指し、徐々にスマート畜産への取組が進んでいます。

今回は、特に導入が進んでいる分娩監視装置や注目を浴びつつあるクラウドシステムについて、実際に活用された感想や実証結果をお知らせします。

分娩監視装置と監視カメラを 組み合わせた省力化

牛温恵、監視カメラ (株式会社リモート等)

農場名	長沢台生産組合	初期投資	<ul style="list-style-type: none"> 牛温恵：約35万円 (本体、端子及び工事費) 監視カメラ：約62万円 (本体及び工事費)
所在地	萩市紫福		
経営形態	肉用牛一貫経営	ランニングコスト	<ul style="list-style-type: none"> 牛温恵 電気代(約100円/月)除く通信費含む基本料：3,500円/月 監視料：800円×センサー数/月
飼養規模	繁殖牛115頭 肥育牛161頭		
 <p>牛温恵(本体)と監視カメラ</p>		導入経緯	<ul style="list-style-type: none"> 分娩介助に監視が必要だが、牛舎への寝泊りが困難なため導入を検討 畜産雑誌に掲載されている記事を参考にNTTドコモに相談 牛温恵：平成23年12月導入 監視カメラ：平成27年2月導入
 <p>牛舎内の様子</p>		効果	<ul style="list-style-type: none"> 導入前は、分娩時には何度も牛舎に行かなければならなかったが、導入後は牛舎内の様子を自宅のタブレット上で確認できるため、牛舎に行くのも必要最低限となり、安心感や作業性が格段に向上した。
 <p>牛温恵のセンサー端末</p>		気になった点	<ul style="list-style-type: none"> センサー端子が胎盤とともに落下したことがあったため、端子は尾にしっかり固定する必要がある。

※ 費用やランニングコストは料金改定やプラン等によって異なる可能性があります。
最新の情報は、直接販売会社様にお問い合わせください。

県では、農林総合技術センター畜産技術部(畜産試験場)を中心に、IoTやAIを応用した機器の実証調査や技術開発に取り組んでいます。今回は、農業大学校での導入実証調査の結果を紹介します。

農場名	山口県立農業大学校	導入効果 確認項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個体管理の省力化 ・ 繁殖成績への効果 ・ 情報共有のメリット 															
所在地	防府市牟礼		結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発情発見が容易かつ確実になり、発見率が向上した。 ・ 分娩後初回授精日数、空胎日数等が改善された。 ・ 疾病の早期発見等、体調管理が容易になった。 ・ 出産日や発情日の確実な記録が可能となった。 ・ データを遡って確認しやすくなった。 ・ 搾乳牛の個体情報を飼養者間で共有することより、より適切な搾乳管理が容易になった。 														
経営形態 飼養規模	酪農経営コース 成牛26頭、育成牛8頭 子牛6頭 肉用牛経営コース 繁殖雌牛20頭 肥育牛11頭 育成・子牛21頭																	
初期投資	・ ゲートウェイ 2台 ・ ファームノートカラー20個 計 約150万円																	
ランニング コスト	約20,000円/月																	
<p>牛群管理システムの活用</p>		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div> <p>分娩後初回授精平均日数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>導入前</td> <td>172.2</td> </tr> <tr> <td>導入1年目</td> <td>72.0</td> </tr> <tr> <td>導入2年目</td> <td>73.8</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div> <p>発情発見率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>%</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>導入前</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>導入1年目</td> <td>42.2</td> </tr> <tr> <td>導入2年目</td> <td>42.6</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	日	値	導入前	172.2	導入1年目	72.0	導入2年目	73.8	%	値	導入前	12.9	導入1年目	42.2	導入2年目	42.6
日	値																	
導入前	172.2																	
導入1年目	72.0																	
導入2年目	73.8																	
%	値																	
導入前	12.9																	
導入1年目	42.2																	
導入2年目	42.6																	
<p>気になった点</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信環境が限られるため放牧牛での活用が困難 ・ 実際の発情から通知までタイムラグが発生 																

※費用やランニングコストは料金改定やプラン等によって異なる可能性があります。最新の情報は、直接販売会社様にお問い合わせください。

お問合せ先

県では、畜産経営への先進技術導入を進めるため、研修会等も開催しています。詳しくは山口県畜産振興課、又は最寄りの農林(水産)事務所にお問い合わせください。

山口県畜産振興課	衛生・飼料班	TEL：083-933-3434
柳井農林水産事務所	畜産部	TEL：0820-22-2416
山口農林水産事務所	畜産部	TEL：083-989-2517
長門農林水産事務所	畜産部	TEL：0837-37-5606
萩農林水産事務所	畜産部	TEL：0838-22-5677
下関農林事務所	畜産部	TEL：0837-66-1018

令和3年3月

-山口県スマート畜産推進協議会(山口県畜産振興課)-